

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：人文公共学府

学年：1

留学先大学：ユヴァスキュラ大学

現在の学期：Spring semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	16:15 - 17:45 Survival Finish
火	9:15 - 11:45 Quantitative Research 16:15 - 17:45 Japanin kirjoitusmerkit ja lukeminen
水	
木	10:15 - 11:45 Survival Finnish 16:15 - 17:45 Japani 6
金	9:15 - 11:45 Diversity in Organizational Communication (12:30 - 14:00) Japanin lielen kirjoitusmerkit ja lukeminen 13:15 - 14:45 Introduction to Intercultural Communication
土・日	

履修科目や近況について

学習面では、多くの科目は履修しませんでした。LAGIC プログラムの中から Diversity in Organizational Communication と Introduction to Intercultural Communication という留学生でも受講できる講義を履修しました。

Diversity in Organizational Communication は組織内での多様性について講義を聞きディスカッションを行います。成績はプレゼンテーション動画の提出とコメントで決まります。

Introduction to Intercultural Communication は異文化間コミュニケーションについて学びます。ディスカッションが多く行われています。成績はグループでのディナーを通して実際に異文化間コミュニケーションを経験し、それについてプレゼンテーションで決まります。

Quantitative Research は留学生には開講されていないため、聴講生として参加しています。

いずれも事前課題が多く、予習復習に時間がかかりますが、内容は面白く有意義だと思います。ディスカッションクエストが先に示されているので、どんなことに注目して読むのかがわかりやすく、取り組みやすいです。

Survival Finnish は生活に必要なフィンランド語を学んでおり、実生活に役立っています。

そして Japanese Teaching Support として日本語クラスのサポートを行っています。Japanin lielen kirjoitusmerkit ja lukeminen と Japani 6 が私のメインの担当ですが、プロジェクトのため、記載していませんが Japani 2 と 4 にも参加します。

E-learning Module というオンラインでのアカデミック語彙や文法、プレゼンテーションに関するコースもとっています。

2月・3月から Communication in a Multilingual Workplace と Academic English を履修する予定ですが、JTS のプロジェクトと修士論文の研究状況を見て検討する予定です。

生活面では、初めの1か月ということもあり、寒さに慣れることが最大の壁でした。飛行機の遅れによって予定した日時に到着せず、ユヴァスキュラ駅に着いた頃には日が暮れていました。その日はマイナス20度を記録し、フィンランド人も特に寒いと話していました。疲労と寒さで食べ物を調達することができず、その日は何も食べずに就寝しました。寒さと暗さと時差ボケで、動けず食べられず寝られず、学校に行くという日々でしたが、2週間程度で慣れました。初週にチューターにキャンパスや市内を案内していただきましたが、マイナス15~20度の中1~2時間外を歩くというのはかなりきつかったです。今では5km先のスーパーまで歩いて行けるくらい寒さにはなれました。

また、ESN というインターナショナルアソシエーションだけでなく、Parku ry というコミュニケーション学部のアソシエーションに加入しました。Sitsit というイベントに参加し、フィンランドの学生生活を実感しました。

学生寮 Soihdu の Kortepohja では、サウナやランドリーはすべての棟にはありません。別の棟を使えますが、家の鍵で行ける棟とメタルキーを使う棟があります。メタルキーはリクエストをする必要があり、初めは戸惑いました。しかし、過ごしにくい場所ではないので、Soihdu か KOAS、どちらにしても問題はないと思います。

今のところ、アイススケート、スレディング(そり)をしました。スキー場やスケート場が近くにあるので、様々なスノーアクティビティをしたいと思います。



ユヴァスキュラモニュメント



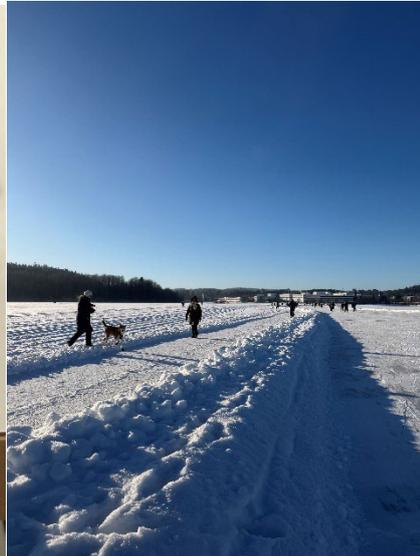
学内レストランにて



寮の最寄りのバス停からの景色



サルミアッキとミントチョコ
何度食べても苦手です…。



湖の上にて
散歩やスケートやクロスカントリーなど
人だけでなく犬たちも冬と太陽を楽しんでいました。

海外派遣留学プログラム 留学中報告書（記入例）

所属：●●学部

学年：●年

留学先大学：Univeresity of ●●

現在の学期：Spring semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	8: 15-9:05 Digital Strategy for Entrepreneurs 10:45-11:35 Introduction to Accounting
火	8:15-9:05 Introduction to Criminology 10:45-11:35 Introduction to Asian Studies
水	8: 15-9:05 Digital Strategy for Entrepreneurs 10:45-11:35 Introduction to Accounting
木	8:15-9:05 Introduction to Criminology 10:45-11:35 Introduction to Asian Studies
金	
土・日	

履修科目や近況について

履修科目は●●を理由にそれぞれ選択しました。他にも Introduction to ●●の履修も検討していましたが、先着順に漏れてしまいました。

Digital Strategy for Entrepreneurs は●●について学びます。授業は週に2回で、月曜日はオンラインで講義を受け、水曜日に対面授業でディスカッションを行います。最終回はエッセイを提出し、グループでプレゼンテーションを行います。学部2年生以上を対象とした授業で、Prerequisite がありましたが、事前に千葉大で履修した●●で満たすことが可能であることを確認し、履修することができました。

Introduction to Accounting は●●について学ぶ、初学者向けの科目です。Prerequisite は無かったものの、専門用語が多いため、予習に時間を取っています。成績は最終回のテストの結果で決まります。

Asian Studies 2 は●●の観点から●●について学びます。●●の知識があることが前提で授業が進むため、授業についていくのが少し大変です。成績は中間と最終レポートの評価で決まります。この量のア

カデミックなレポートを書くのは初めてのため、大学の添削サービスを利用しています。

Introduction to Criminology は初学者対象で、●●について学びます。授業には様々な専攻の学生が集まっています。毎回グループでディスカッションを行った上で全体討論を行います。

生活面では、チアリーディング部に入って活動しています。週に2回程度集まって練習しています。寮生活では●人と共同で・・・

※可能な限り写真も添付してください！

(キャンパスの様子、授業の様子、寮での生活の様子、課外活動の様子など)